

DR. YOKO's Cafe

体にちょっと優しいお話し

健康づくりで気をつけたいポイントや病気の予防方法をお伝えします。

今月のテーマ

2022〜23シーズンのインフルエンザは？

毎年、夏が終わり秋の気配が強まってくる9月初旬を過ぎると「今年はインフルエンザが流行するのか？」という話題をよく耳にするようになります。今年もインフルエンザに関する報道が増えてきて今シーズンの流行模様も油断できないと感じます。気になるのは新型コロナウイルスとの関連です。他の国の状況を見ると、インフルエンザと新型コロナウイルスが同時に流行してしまう恐れも出てきています。今月は、新型コロナウイルスとの関連やワクチン同時接種についても紹介します。



インフルエンザ

最新の状況

韓国では、インフルエンザが5年ぶりに過去最多となっています。日本のインフルエンザ流行模様を予測する際に必ず参考にされるオーストラリアでは、今年5月から感染者数が急増し、A型インフルエンザが流行しています。新型コロナウイルスの感染対策を徹底しているときはインフルエンザも減少していたので、その分抵抗力が落ちている状況にあります。日本国内でもインフルエンザに対しての抵抗力が低下している状況に変わりはありません。これからの時期は発熱などの風邪症状がある場合、風邪かインフルエンザか新型コロナウイルスなのか、様々な可能性を考慮する必要があります。



ワクチン同時接種

毎年、日本国内では10月からインフルエンザの予防接種が始まりますが、気になるのは新型コロナウイルスワクチンとの兼ね合いです。現在、日本政府はインフルエンザワクチンと新型コロナウイルスワクチンの同時接種を推奨する方針です。同時に接種しても安全性に問題なく、ワクチンの効果も期待できるとしています。専門家は「同時に打つことで予期せぬ副反応が起こる可能性は少ない。大事なものは流行が起こる前にどちらでも予防接種を済ませておくこと。」と話しています。ワクチンを接種して免疫を得るまでに約2週間かかるので、大流行する前の早い時期に接種しておくことが大切です。



オミクロン株対応

2価ワクチン

最近、オミクロン株対応ワクチンの報道が多くされていますが、実際にどのような効果があるのでしょうか。オミクロン株対応ワクチンの追加接種には、従来のワクチンと比較して、オミクロン株に対する重症化・感染・発症を予防する効果が期待されています。また、異なる2種類の抗原が含まれることにより、多様なウイルスに反応すると考えられます。そのため、今後の変異株に対して有効である可能性が高いことが期待されています。オミクロン株対応ワクチンはインフルエンザワクチンとの同時接種が可能であり、年末に向けて備えておくことが重要です。



せんだい総合健診クリニック 院長 石垣洋子

報道でもあるように、今年新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念され、医療機関でも緊張感を高めています。日本の冬季インフルエンザを予想するときに南半球のオーストラリアでの状況を参考にしていますが、まさしく今年5月にオーストラリアではインフルエンザの感染者が急増していました。悪寒発熱、全身倦怠感、頭痛など初期症状は見分けもつかないほど同じです。発熱外来がパンクする前に、自衛策としての予防接種をぜひお勧めします。新型コロナウイルスの新株対応ワクチンも接種可能になっています。本格的な冬が来る前に計画的に予防接種を実施しましょう！

インフルエンザよくある質問

Q. インフルエンザにかかったら、何日外出を控えた方がいいの？

「インフルエンザ発症前日から発症後3日〜7日間」は、のどや鼻からウイルスを排出すると言われています。この期間に外出したり出勤してしまうと周囲にもインフルエンザを広めてしまうことになるので、上記期間を目安に自宅内で療養しましょう。

Q. 去年インフルエンザの予防接種をしたけど、今年も受けたほうがいいの？

インフルエンザには様々な型があります。ワクチンは、そのシーズンに流行するであろうと予測されたウイルスに合わせて製造されます。そのため、年によってワクチンの内容は異なります。前年に受けたワクチンとは異なるため、毎年、その年に合ったワクチンを接種しましょう。また、予防接種を受ければインフルエンザに絶対にかからないというものではありません。しかし、重症化予防には一定の効果があるとされています。

Q. インフルエンザワクチンの副反応にはどのような症状があるの？

インフルエンザワクチンの場合、以下のような副反応が見られます。
・接種を受けた人の10〜20%
接種部位の赤みや腫れ、痛みなど(2〜3日で収束)
・接種を受けた人の5〜10%
発熱、頭痛、だるさ、寒気などの全身性の副反応(2〜3日で収束)
・接種後早い段階で現れやすい副反応
ショック症状、アナフィラキシー症状(発疹、じんましん、赤み、かゆみ、呼吸困難など)
※接種後30分間〜帰宅後などに上記のような異常があった場合は、かかりつけ医や接種した病院にすぐに連絡しましょう。

SHINKOKAI 医療法人社団進興会
せんだい総合健診クリニック
住所 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町1-9-1 仙台トラストタワー 4F
TEL 022-221-0066(代表)
URL <https://www.sskclinic.jp/>
記事についてのお問い合わせ ☎022-221-1274